



平成19年2月5日

## 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

上場会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス  
 コード番号 4188  
 (URL <http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>)

上場取引所 東・大  
 本社所在地 東京都

代表者 役職名 取締役社長 富澤 龍一  
 問合せ先責任者 役職名 広報・IR室長 中山 哲也

TEL (03) 6414-4870

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、税金費用の計上基準等、一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

連結及び持分法の適用範囲の異動 連結 (新規) 9社 (除外) 4社  
 の有無：有 持分法 (新規) 5社 (除外) 8社

## 2. 平成19年3月期 第3四半期の業績概況 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期 第3四半期	1,936,096	10.4	98,941	12.5	110,313	12.2	88,728	22.3
平成18年3月期 第3四半期	1,753,373	9.2	113,069	2.1	125,605	8.3	72,530	49.1
(参考) 平成18年3月期	2,408,945		133,619		143,575		85,569	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成19年3月期 第3四半期	64	77	64	74
平成18年3月期 第3四半期	61	38	61	22
(参考) 平成18年3月期	69	51	69	38

(注) をご参照下さい。

(注) 前年同四半期(平成18年3月期第3四半期)及び前連結会計年度(平成18年3月期)の連結財務諸表は、三菱化学㈱の前年中間連結財務諸表を引き継いで作成されております。  
 前年同四半期(平成18年3月期第3四半期)及び前連結会計年度(平成18年3月期)の1株当たり四半期(当期)純利益については、三菱化学㈱の前中間期の各月末における発行済株式総数(自己株式控除後)に株式移転による当社設立に際しての同社株式に対する当社株式の割当比率を乗じて得られた株式数、及び前第3四半期(平成17年10月～12月)及び下半期の各月末における当社の発行済株式総数(自己株式控除後)を用いて算出した期中平均株式数が使用されています。  
 なお、前連結会計年度期首に株式移転により当社が設立されたものとみなした場合の、前年同四半期及び前連結会計年度の1株当たり四半期(当期)純利益は、それぞれ55円75銭、65円16銭であります。  
 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
平成19年3月期 第3四半期	2,288,321		768,875		30.5		509	39
平成18年3月期 第3四半期	2,159,103		628,525		29.1		458	66
(参考) 平成18年3月期	2,126,612		656,060		30.9		478	72

(注) 前年同四半期(平成18年3月期第3四半期)及び前連結会計年度(平成18年3月期)の数値については、開示済みの「株主資本」を「純資産」に、「株主資本比率」を「自己資本比率」に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」に記載しております。

### 3. 経営成績（連結）の進捗状況、財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

#### (1) 全般概況

当第3四半期までの日本経済は、海外経済好調を背景とした輸出の増加、企業の設備投資増加等に支えられ、緩やかな拡大を続けました。

当社グループの事業環境については、国内外の需要は堅調であった一方、原油・ナフサ価格が、一時よりは軟化したものの依然として前年同期に比べ高値圏で推移するという状況にありました。

この様な状況下、当社グループの当第3四半期までの売上高は、1兆9,361億円（前年同期比1,827億円増（+10.4%））、営業利益は、989億円（同141億円減（-12.5%））、経常利益は、1,103億円（同153億円減（-12.2%））となり、当期純利益は、887億円（同162億円増（+22.3%））となりました。

#### (2) 部門別の概況

##### 石化セグメント

石油化学部門の基礎素材であるエチレンの生産量は、前年同期比9%増の99万トンとなりました。基礎石化製品・化成品・合成繊維原料・合成樹脂及び機能性ポリマーは、国内外の旺盛な需要に支えられ販売は好調でありましたが、原燃料価格高騰の影響を受け、また、テレフタル酸、エチレングリコール等は、厳しい市況のうちに推移しました。

以上の結果、石化セグメントの売上高は、9,248億円（前年同期比1,356億円増（+17.2%））となりましたが、営業利益は、原燃料価格の値上がりとそれに対応した製品価格是正との間の時間差や海外市況が弱含みであったこと、生産設備トラブル等により179億円（同101億円減（-36.1%））となりました。

当第3四半期（平成18年10月1日～平成18年12月31日；以下同じ）に石化セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱エンジニアリングプラスチックス(株)が、中国広東省において、ポリブチレンテレフタレート、ナイロン6を中心としたエンジニアリングプラスチックスのコンパウンド生産会社を設立することを決定。（10月）
- 鹿島北共同発電(株)が、使用主燃料の一つをオリマルジョンから石油コークスに転換するための設備改造を決定。（11月）
- 三菱化学(株)が、ビスフェノールAの生産技術をPTTフェノール社（本社：タイ・バンコク）へ供与することを決定。（11月）

##### 機能商品セグメント

機能化学事業のうち情報電子関連製品のDVDは、販売価格は下落したものの、販売数量は引続き好調に伸長しました。国内のOPCドラム・トナー等のプリンター・コピー機

関連材料事業は、旺盛な需要を背景に好調でした。食品機能材は、引続き順調に推移しました。炭素事業は、原料炭在庫に係る受払差が前年同期の差益から当期は差損に転じたこと、及びコークス輸出価格下落により前年同期に比べ利益が減少しました。

機能材料事業のうち、各種フィルム・複合フィルム・シート製品は、液晶ディスプレイ用保護フィルム向け等を中心に好調に推移し、樹脂射出成型品等の情報電子材料及び炭素繊維・アルミナ繊維等の産業資材及び建築材料は、順調に売上げを伸ばしました。

以上の結果、機能商品セグメントの売上高は、6,871 億円(前年同期比 475 億円増(+7.4%))、営業利益は、442 億円(同 82 億円減( 15.6%))となりました。

当第 3 四半期に機能商品セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学(株)が、産業用途向けフラーレン類の開発推進を目的として、フロンティアカーボン(株)への増資を実施。(10月)
- 三菱樹脂(株)が、冷却水管理装置を内蔵した、省スペースで、配管工事の省力化を可能にした角型開放式冷却塔を発売。(10月)
- 三菱樹脂(株)が、長浜工場(滋賀県長浜市)において、情報電子分野向けエンジニアリングプラスチックフィルムの新工場建設を決定。(11月)
- 三菱化学メディア(株)が、録画用 2 倍速対応 Blu-ray Disc(カートリッジ無し・追記型 BD-R 及び書き換え型 BD-RE)を発売。(12月)

#### ヘルスケアセグメント

医薬品は、抗血小板剤「アンプラグ」や脳保護薬「ラジカット注」等主力医薬品の販売数量は増加したものの、薬価基準引下げの影響等を受け、売上高は前年同期を下回りました。臨床検査事業・治験検査事業は、いずれも堅調に推移しました。

以上の結果、ヘルスケアセグメントの売上高は、2,323 億円(前年同期比 98 億円減(4.0%))となりましたが、営業利益は、主力医薬品の販売増及び販売手数料や退職給付費用等販売管理費の減少により、360 億円(同 18 億円増(+5.1%))となりました。

当第 3 四半期にヘルスケアセグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱ウェルファーマ(株)が、(株)クレハ(本社：東京都中央区)から、(株)クレハが創製した慢性腎不全用剤「クレメジン」について、米国を含む世界各国(日本、韓国、中国、台湾、フィリピン、インド及びイスラエルを除く)での独占的開発及び販売権を取得することに合意し、ライセンス契約を締結。(11月)
- 三菱化学(株)が、アイシー・ヴェック社の全株式をイミュテス社(本社：英国・ロンドン)に売却。(11月)

## その他

エンジニアリング部門及び物流部門を中心に全般的に順調に進捗しており、売上高は、918 億円(前年同期比 94 億円増(+11.4%))、営業利益は、69 億円(同 6 億円増(+9.5%))となりました。

当第 3 四半期にその他の部門で実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学(株)が、子会社である(株)北九州プリンスホテルが展開しているホテル事業を、ホテルマネージメントインターナショナル(株)(本社：兵庫県神戸市)に譲渡することを決定。(11月)

## グループ全般

当第 3 四半期にセグメント以外の各部門で実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学(株)が、第 35 回無担保社債(100 億円、期間 10 年)、第 36 回無担保社債(100 億円、期間 5 年)の国内普通社債を発行。(12月)
- (株)三菱化学生命科学研究所が、生命体の細胞内部の構造を保つ新たな仕組みを発見。(12月)

## (3) 財政状態(連結)の変動状況

当第 3 四半期末の総資産は、期末休日及び売上高の増加等による営業債権の増加、季節的要因等によるたな卸資産の増加、設備投資の拡大による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ 1,617 億円増加し、2 兆 2,883 億円となりました。

## 4. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

当第 3 四半期までの業績は、平成 18 年 11 月 9 日に公表いたしました業績予想通り推移しております。従いまして、通期の業績予想は、見直しておりません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	百万円 2,600,000	百万円 127,000	百万円 135,000	百万円 98,000

## (1) 連結損益計算書

(単位: 百万円)

		当第3四半期	前年同四半期	増減	前連結会計年度
		(平成18.4.1~平成18.12.31)	(平成17.4.1~平成17.12.31)		(平成17.4.1~平成18.3.31)
I	売上	1,936,096	1,753,373	182,723	2,408,945
II	売上原価	1,551,714	1,353,154	198,560	1,888,535
III	売上総利益	384,382	400,219	△ 15,837	520,410
	販売費及び一般管理費	74,204	76,698	△ 2,494	101,479
	販売管理費	211,237	210,452	785	285,312
	(販売費及び一般管理費合計)	(285,441)	(287,150)	(△ 1,709)	(386,791)
IV	営業外利益	98,941	113,069	△ 14,128	133,619
	受取利息	1,324	1,325	△ 1	1,567
	受取配当金	3,580	3,493	87	4,440
	持分法による投資利益	12,503	11,217	1,286	12,864
	為替差益	3,382	5,499	△ 2,117	6,129
	固定資産賃貸料	2,673	2,708	△ 35	3,733
	その他	5,882	6,302	△ 420	7,566
	(営業外収益合計)	(29,344)	(30,544)	(△ 1,200)	(36,299)
V	営業外費用				
	支払利息	9,149	8,297	852	11,009
	固定資産整理損	2,498	1,600	898	2,803
	商品スワップ	1,255	-	1,255	-
	出向者労務費	-	3,519	△ 3,519	4,164
	その他	5,070	4,592	478	8,367
	(営業外費用合計)	(17,972)	(18,008)	(△ 36)	(26,343)
VI	経常利益	110,313	125,605	△ 15,292	143,575
	特別利益				
	投資有価証券売却益	4,785	1,735	3,050	1,936
	固定資産売却益	2,500	1,308	1,192	2,383
	その他	232	330	△ 98	1,586
	(特別利益合計)	(7,517)	(3,373)	(4,144)	(5,905)
VII	特別損失				
	関係会社整理損	1,249	397	852	15,716
	固定資産整理損等	792	953	△ 161	2,706
	固定資産整理損失引当金繰入額	310	150	160	2,150
	投資有価証券評価損	309	1,024	△ 715	2,208
	早期定年退職一時金	220	1,817	△ 1,597	1,905
	固定資産減損損失	56	338	△ 282	1,131
	その他	812	1,519	△ 707	8,594
	(特別損失合計)	(3,748)	(6,198)	(△ 2,450)	(34,410)
	税金等調整前四半期(当期)純利益	114,082	122,780	△ 8,698	115,070
	税金費用	21,947	41,079	△ 19,132	20,290
	少数株主利益	3,407	9,171	△ 5,764	9,211
	四半期(当期)純利益	88,728	72,530	16,198	85,569

## (2) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期末 (平成18.12.31)	前連結会計 年度末 (平成18.3.31)	前年同四半期末 (平成17.12.31)		当第3四半期末 (平成18.12.31)	前連結会計 年度末 (平成18.3.31)	前年同四半期末 (平成17.12.31)
<b>流動資産</b>	1,147,885	988,380	1,064,582	<b>流動負債</b>	989,878	891,207	963,172
現金及び預金	67,024	65,382	99,688	支払手形及び買掛金	425,445	389,991	367,222
受取手形及び売掛金	588,900	491,905	529,974	短期借入金	215,574	211,001	241,570
たな卸資産	361,177	317,573	328,567	コマーシャルヘーパ―	59,000	32,000	97,000
その他の	132,455	115,443	108,458	1年以内償還社債	55,100	30,000	20,000
貸倒引当金	△ 1,671	△ 1,923	△ 2,105	賞与引当金	15,063	26,293	14,527
				その他の引当金	10,154	10,856	7,839
				その他	209,542	191,066	215,014
<b>固定資産</b>	1,140,436	1,138,232	1,094,521	<b>固定負債</b>	529,568	510,478	499,475
(有形固定資産)	(712,887)	(686,680)	(675,186)	社債及び転換社債	219,597	234,745	214,726
建物及び構築物	209,324	209,828	213,291	長期借入金	171,849	128,923	155,911
機械装置及び運搬具	236,968	235,673	229,761	退職給付引当金	92,781	100,111	102,212
土地	174,800	178,016	177,964	その他の引当金	13,055	29,542	12,193
建設仮勘定	68,528	40,984	32,132	その他	32,286	17,157	14,433
その他	23,267	22,179	22,038				
(無形固定資産)	(23,095)	(22,145)	(22,175)	<b>負債合計</b>	1,519,446	1,401,685	1,462,647
のれん	7,816	6,651	7,122				
その他	15,279	15,494	15,053	<b>株主資本</b>	619,749	570,592	558,967
(投資その他の資産)	(404,454)	(429,407)	(397,160)	資本金	50,000	50,000	50,000
投資有価証券	333,446	344,213	324,664	資本剰余金	379,781	412,876	412,879
その他	72,029	86,327	73,768	利益剰余金	310,456	227,836	216,021
貸倒引当金	△ 1,021	△ 1,133	△ 1,272	自己株式	△ 120,488	△ 120,120	△ 119,933
				評価・換算差額等	77,924	85,468	69,558
				その他有価証券評価差額金	79,813	87,355	76,981
				繰延ヘッジ損益	27	—	—
				土地再評価差額金	1,858	1,886	1,886
				為替換算調整勘定	△ 309	△ 3,773	△ 9,309
				在外子会社の最小年金債務調整額	△ 3,465	—	—
				新株予約権	544	—	—
				少数株主持分	70,658	68,867	67,931
				<b>純資産合計</b>	768,875	724,927	696,456
<b>資産合計</b>	2,288,321	2,126,612	2,159,103	<b>負債、純資産合計</b>	2,288,321	2,126,612	2,159,103

## (注)①純資産の部の表示

前連結会計年度末(平成18年3月31日)欄及び前年同四半期末(平成17年12月31日)欄の(資本の部)は、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)にあわせて(純資産の部)に組替表示しております。

## ②在外子会社の最小年金債務調整額

前連結会計年度末(平成18年3月31日)欄及び前年同四半期末(平成17年12月31日)欄において、純資産の部の「利益剰余金」に含めていた「在外子会社の最小年金債務調整額」は、「中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」の改正(平成18年12月26日)にあわせて、当第3四半期から評価・換算差額等の「在外子会社の最小年金債務調整額」として区分掲記することといたしました。なお、前連結会計年度末及び前年同四半期末の「在外子会社の最小年金債務調整額」は、それぞれ3,150百万円、1,932百万円であります。

## セグメント別連結売上高及び営業利益

## セグメント別連結売上高（外部顧客に対する売上高）（単位：百万円）

	当第3四半期 (平成18.4.1～平成18.12.31)	前年同四半期 (平成17.4.1～平成17.12.31)	増減	前連結会計年度 (平成17.4.1～平成18.3.31)
石化	924,790	789,215	135,575	1,087,357
機能商品	687,133	639,606	47,527	874,702
（機能化学）	(388,562)	(363,712)	(24,850)	(501,511)
（機能材料）	(298,571)	(275,894)	(22,677)	(373,191)
ヘルスケア	232,324	242,085	9,761	312,579
その他	91,849	82,467	9,382	134,307
合計	1,936,096	1,753,373	182,723	2,408,945

## セグメント別連結営業利益（単位：百万円）

	当第3四半期 (平成18.4.1～平成18.12.31)	前年同四半期 (平成17.4.1～平成17.12.31)	増減	前連結会計年度 (平成17.4.1～平成18.3.31)
石化	17,865	27,956	10,091	33,722
機能商品	44,235	52,404	8,169	65,802
（機能化学）	(24,883)	(35,378)	(10,495)	(43,007)
（機能材料）	(19,352)	(17,026)	(2,326)	(22,795)
ヘルスケア	36,010	34,259	1,751	36,226
その他	6,947	6,342	605	8,995
コーポレート	6,116	7,892	1,776	11,126
合計	98,941	113,069	14,128	133,619

（注） 当第3四半期より、中期経営計画における重点事業分野をより明確に反映させる組織改正を行ったことに伴い、従来の事業区分に加え、本計画の重点領域である石化・機能商品・ヘルスケアの3分野を表示しております。また、従来のサービスセグメントに属する事業をその他セグメントとして表示しております。同時に、連結子会社の一部事業、連結子会社4社について当社グループにおける事業上の位置付けを変更したことに伴い、事業内容の実態をより明確に反映させるために、その所属する事業区分を変更しております。この変更により、従来の事業区分によった場合に比べて、当第3四半期の売上高が石化セグメントで28,379百万円多く、機能化学セグメントで37,241百万円少なく、ヘルスケアセグメントで23,666百万円多く、その他セグメントで14,804百万円少なく計上されております。また、当第3四半期の営業利益が石化セグメントで2,981百万円多く、機能化学セグメントで1,969百万円少なく、ヘルスケアセグメントで564百万円多く、その他セグメントで1,576百万円少なく計上されております。また変更後の区分に基づき、前年同四半期・前連結会計年度についても数値の組替を行っております。

平成19年3月期 第3四半期連結決算概要

平成19年2月5日

株式会社三菱ケミカルホールディングス

1. 業績(9ヶ月累計)

(億円)

[参考]

	当第3四半期 (H18.4.1 - H18.12.31)	前年同四半期 (H17.4.1 - H17.12.31)	増減	通期予想 (H18.11.9公表)	3Q累計 進捗率
売上高	19,361	17,534	1,827	26,000	74.5%
営業利益	989	1,131	142	1,270	77.9%
金融収支	42	35	7	60	
その他営業外	31	48	17	5	
持分法損益	125	112	13	135	
経常利益	1,103	1,256	153	1,350	81.7%
特別損益	38	28	66	20	
税引前利益	1,141	1,228	87	1,330	85.8%
法人税等	220	411	191	310	
少数株主利益	34	92	58	40	
当期純利益	887	725	162	980	90.5%

2. セグメント別売上高・営業利益(9ヶ月累計)

(億円)

[参考]

		当第3四半期 (H18.4.1 - H18.12.31)	前年同四半期 (H17.4.1 - H17.12.31)	増減	通期予想 (H18.11.9公表)	3Q累計 進捗率
売上高	石化	9,248	7,892	1,356	12,310	
	機能商品	6,871	6,396	475	9,090	
	(機能化学)	(3,885)	(3,637)	248	(5,210)	
	(機能材料)	(2,986)	(2,759)	227	(3,880)	
	ヘルスケア	2,323	2,421	98	3,060	
	その他	919	825	94	1,540	
	合計	19,361	17,534	1,827	26,000	
営業利益	石化	179	280	101	230	77.8%
	機能商品	442	524	82	630	70.2%
	(機能化学)	(249)	(354)	105	(370)	(67.3%)
	(機能材料)	(193)	(170)	23	(260)	(74.2%)
	ヘルスケア	360	343	17	410	87.8%
	その他	69	63	6	90	76.7%
	コーポレート	61	79	18	90	67.8%
合計	989	1,131	142	1,270	77.9%	

注) 組織改正に伴い、セグメントの名称や一部事業・子会社の所属セグメントを変更しており、前年実績値も組替えております。

3. 比較貸借対照表

(億円)

借方	当第3四半期末 (H18.12.31)	前連結会計年度末 (H18.3.31)	増減	貸方	当第3四半期末 (H18.12.31)	前連結会計年度末 (H18.3.31)	増減
流動資産	11,479	9,884	1,595	流動負債	9,899	8,912	987
固定資産	7,360	7,088	272	固定負債	5,295	5,104	191
投融資等	4,044	4,294	250	純資産	7,689	7,250	439
				(うち自己資本)	(6,977)	(6,561)	(416)
資産合計	22,883	21,266	1,617	負債、純資産合計	22,883	21,266	1,617
				自己資本比率	30.5%	30.9%	0.4%
				有利子負債(含割手)	7,244	6,399	845
				D/Eレシオ	1.04	0.98	0.06

注) 1 自己資本: 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権

2 D/Eレシオ: 有利子負債(含割手) / 自己資本

4. 連結範囲

(会社数)

	当第3四半期末 (H18.12.31)	前連結会計年度末 (H18.3.31)	増減
連結子会社	173	168	5
持分法適用会社	80	83	3
合計	253	251	2



< 参考資料 > (第3四半期 3ヶ月分)

1. 業績

(億円)

	当第3四半期 (H18.10.1 - H18.12.31)	前年同四半期 (H17.10.1 - H17.12.31)	増減
売上高	6,726	6,187	539
営業利益	423	412	11
金融収支	21	16	5
その他営業外 持分法損益	12 44	20 49	8 5
経常利益	458	465	7
特別損益	0	2	2
税引前利益	458	463	5
法人税等 少数株主利益	175 15	181 18	6 3
当期純利益	268	264	4

2. セグメント別売上・営業利益

(億円)

		当第3四半期 (H18.10.1 - H18.12.31)	前年同四半期 (H17.10.1 - H17.12.31)	増減
売上高	石化	3,287	2,851	436
	機能商品	2,314	2,224	90
	(機能化学)	(1,299)	(1,267)	(32)
	(機能材料)	(1,015)	(957)	(58)
	ヘルスケア	822	859	37
	その他	303	253	50
	合計	6,726	6,187	539
営業利益	石化	108	105	3
	機能商品	162	158	4
	(機能化学)	(89)	(99)	10
	(機能材料)	(73)	(59)	14
	ヘルスケア	157	165	8
	その他	21	18	3
	コーポレート	25	34	9
合計	423	412	11	